

# 活セン ニュース

2019年 1月号

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834

今年の干支は、イノシシです。猪突猛進、今年もスタッフ一同頑張ります。

皆さまのご支援よろしく願いいたします。

市民活動センターは、住みよいまちづくりをすすめる市民活動団体、ボランティア団体などの活動をお手伝いする、あなたのセンターです。皆さんにとって使いやすいセンターを目指しています。ご意見、ご要望をどんどんお寄せください。



2019年 元旦

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、市民活動センター事業にご理解ご支援いただきありがとうございました。

昨年から商工会のあじさい祭りがなく、「スマイルフェスタ」単独の開催でしたが、多くの市民の方に来場いただきました。ひとえに、皆さまのご協力ご支援の賜物と感謝申し上げます。スマイルフェスタで、団体同士の交流も増え、市民の方の理解も深まってきたように思います。

昨年は、全国で豪雨・地震などの自然災害で大きな被害が続発しました。東海・東南海地震の危険性も高まっています。私たちのまちも例外ではありません。また、高齢社会により、地域の課題も増えていきます。地域のコミュニティづくりや、日頃の備えが重要です。みんなで安心のまちづくりを進めていきます。「ボランティア人口が一番多いまち“いなべ”」を目指して頑張りましょう。

2019年 元旦

いなべ市市民活動センター 受託事業者

「NPO 法人 いなべ市民クラブ」理事長 陰地 吉照

## NPO カフェ 第3回のテーマ 団体の世代交代

第1回 9月、地域おこして何？

第2回 11月、居場所について考える

第3回 12月5日に「団体の存続」をテーマに、話し合いました。

仲間を募って活動始めたけれど、高齢のため活動が難しくなり、今後どうこの活動を繋いでいくか？ 会員が増え、当初の想いと変化している。続けるのが困難になり、活動を終わらせたい。でも・・・

こんな悩みを共有しながら、参加者で議論しました。活動が5年を超えると会員が変わり、始めたころの想いも変化します。新しい仲間を引き継ぐには、どうしたらいい?? また、参加者は、楽しみにしているが、続けていくのがしんどい！ この活動をどう終わるかをみんなで探っている、自分の代で終わるのは気になる・・・などなど。

今回、解決策は皆違うので、それぞれにあった終わらせ方、引き継ぐ方法など会員全員で話し合うのが、一番かな？ と思いました。

NPOの活動も悩みがたくさんあります。でも、いろいろな人と話すことで解決策も見つかることもあります。助けてくれる人が現れるかもしれません。

いろいろなテーマで、心置きなく話せる会です。興味のあるかた、いつでも、気軽に参加してください。また、こんなことで話してみたいなどの意見もお寄せください。

次回、2月16日（土）9：30～ テーマ・未来に何を残す？

## 休眠預金制度

休眠預金とは、国民の預貯金で、10年以上入出金等の異動がない預金等です。各金融機関は預金者等の所在が確認できないものなど、払い戻しの努力をしても不明の預金を預金保険機構に移管します。

このお金を「指定活用団体」に交付、指定活用団体は、「資金分配団体」に交付します。

注：「指定活用団体」がどこになるか、「資金分配団体」が全国にいくつできるかなどまだ決まっていないことがたくさんあります。

資金分配団体が、地域のNPOからの申請を受け、「助成」「貸付」「出資」の形でお金を分配します。また、活動報告書の提出を受け、適正に使われているか審査する、監督業務を行います。

この休眠預金制度は、国民の直接の財産です。私たちは、その使い方を注視する必要があります。  
この制度は、2019年の秋には始まります。



## カナの訪問レポート

### 第14回いなべ市民人権フェスティバル

12月9日(日)、北勢市民会館で、人権フェスティバルが開催されました。ロビーには活動紹介パネルや市内子育て支援団体のブースが並び、2階では障がい者支援団体・事業所によるバザーが行われました。

ホールでは午前中、人形劇団むすび座による『かくれ山の大冒険』が上演され、笑い声があふれました。午後の部は、ドキュメンタリー映画『やさしくなあに』の上映&トークがありました。優しい気持ちをもって「なあに？」って耳を傾けていますか？障がいがあっても明るく生きる、奈緒ちゃんとその家族に「おもしろい」を気づかせてもらえるような映画でした。

## メシエしいなべ



更生保護女性会も参加

やさしさ・思いやり・愛・いのちをテーマにした盛りだくさんの内容でした。いつも、メシエさんの企画力はすばらしいなあと思うのですが、今回も「豊かな暮らしとお互いを尊重するまちづくり」を目指すメンバーさんの思いを感じました。スタッフさんが来場者にとっても優しく接してみえて、私もやさしく『なあに』っていわないと、と心に留めました。

同日、**こどもまつり** (いなべこども活動支援センター主催) がコミュニティプラザで開催され、1年間の活動の紹介と体験コーナーがあり、親子で楽しむ様子がみられました。



## ボランティアのつどい ~災害支援は泥かきやガレキ撤去だけではない!~

12月2日(日)いなべ市市民活動センターにて「ボランティアのつどい」を開催しました。

これは、いなべ市社会福祉協議会との共催で、ボランティア団体の交流の場として毎年開催しています。

今年は名古屋の認定NPO法人レスキューストックヤードの松山さん、「災害支援とボランティア活動について」と題し講演いただきました。

- 避難所生活になったときは「地域力」が一番重要、避難所の運営は、自分たちで行う。
- 自分の得意なことで、避難所生活に活かせることはあるはず。
- 被災地で仲間と一緒に取り組めることは何か？  
災害発生から避難所生活となったとき、自分たちでできることは、たくさんあると改めて考えさせられた「つどい」でした。



今年の目標 「もったいない」の日本のこころ、伝えていきます。

## ヒト・モノ交流サイトを拡充します。

市内各地域にお知らせを入れています。

充分使えるもの、捨てるのもったいない、そんな心を大切にしたい。必要な人に、使っていただきます。また、モノだけでなく「人」の交流をはかります。何か役に立てることがあれば、お手伝いします。こんな特技があります。時間があるときお手伝いします。そんな方を募集しています。

「ボランティア人口が一番多いまち“いなべ”」を目指して頑張りましょう。

\*こんなチラシ見たことありませんか？  
いなべ市内に組回覧としてお知らせしています。

皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

### 現在の提供物品

本箱、ベット、洋服ダンス  
ベビーカーなど幼児用品

### 希望物品

自転車、空き家



### いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 員弁老人福祉センター内

TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834

E-mail [i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp](mailto:i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp)

HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

